

水産物の市況について(平成26年11月及び12月)

—東京都中央卸売市場における平成26年11月(平成26年10月21日～11月20日集計)の市況と、
平成26年12月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成26年11月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月並みとなり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は前月と比べやや強含みに推移しました。

II 平成26年12月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月と比べ増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べ増加すると見込まれるものの、需要の最盛期を迎えることから、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

盛漁期に入り、入荷量は前月並みと見込まれるものの、大型サイズが少ないことから卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

需要期を迎え、入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

入荷量は前月と比べ大幅に減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	11月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
26年	43	971	44	916	44	933
前年	48	892	45	858	45	888

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	11月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	562	149	70	110
さけ・ます(平均)	894	102	112	138
(ぎんざけ塩蔵品)	937	100	129	143
(あきさけ塩蔵品)	655	100	107	123
(ときさけ塩蔵品)	947	100	104	109
(べにざけ塩蔵品)	1,085	100	98	111
(さけ類冷凍品)	905	105	115	153
さば(生鮮品)	528	111	116	118
するめいか(平均)	407	89	101	107
(生鮮品)	382	84	96	101
(冷凍品)	456	100	109	120
あじ(生鮮品)	527	84	105	107
まぐろ(冷凍品)	1,406	96	104	102
(めばち冷凍品)	1,072	101	107	105
(きはだ冷凍品)	962	98	103	96
(くろまぐろ冷凍品)	4,395	109	113	128
(みなみまぐろ冷凍品)	1,889	89	94	92
さんま(生鮮品)	267	74	66	83

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:11月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成21年～25年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 岡野、原、安井

直通 03-3591-5612